

第1回 中札内村男女共同参画推進委員会 議事録

日 時 : 令和7年3月27日(木)

午後7時～午後7時45分

場 所 : 中札内村役場庁舎 会議室1

出席者 : 宮木宗久、舘盛洋子、曾根俊明、小林裕子

事務局 : 村長 森田匡彦、総務課長補佐 下浦強、主査 重松和希、主任 吉田彩乃

欠席者 : 佐々木教年

1 開会(下浦補佐)

2 委嘱状交付(森田村長)

3 村長あいさつ

国の男女共同参画の取組が始まって約25年が経つ。最近ではアメリカの大統領が替わったことで、世界的に多様性や公平性について先が見通せない状況になっているが、日本では夫婦別姓について議論が進んできており、後は議員が領けば、という所まできている。

そういった情勢の中で、令和7年度は村の第4次計画について検討いただくことになる。よろしくお願いしたい。

もう1点、中札内村の特徴的な取組として2つ紹介させていただく。1つは男性職員の育休取得が増えてきていること、2つ目は中学校でジェンダーレス制服が導入されること。

委 員 : ジェンダーレス制服とは？

森田村長 : 現行の制服からデザインが変更となり、性別に関係なくスラックスやスカートを選ぶことができる。令和8年度から導入するが、令和7年度から5年間は購入に対する補助を行う。

委 員 : ジェンダーレス制服にしなくても、ジャージならそもそも男女同じデザインではないか。登下校はジャージで行っているし、制服にする意味はあるのか。

森田村長 : ジャージでの登下校は十勝独特の文化。ジェンダーレス制服の導入を機に制服を着る機会を増やしたい。制服を性の多様性を考える装置としても活用したいと考えている。

4 報告事項

(1) 男女共同参画推進委員会の概要について【資料1】(吉田)

委 員：作文はテーマを決めて募集しているのか。

吉田主任：昨年は3つのテーマを用意している。その中から1つを選んで作文を書いてもらい応募していただいている。

委 員：人権擁護の関係でも中学生を対象とした作文コンテストを行っているが、応募が無い状況。この作文を活用できればと思う。

(2) 男女共同参画推進計画について【資料2-1、2-2】(吉田)

※資料2-2は新任の方にのみ配布。

・資料に基づき説明。質疑等なし。

5 協議事項

(1) 会長・副会長の互選

立候補がいなかったため、事務局案をお示しし、下記の通り決定。

会 長 曾根 俊明

副会長 舘盛 洋子

(2) 令和7年度取組(案)【資料3】

委 員：座談会が実施されたことを知らなかった。委員は参加しないものなのか。

下浦補佐：今回の座談会では委員に声掛けはしていない。偶然、無作為抽出で当たった総合行政推進委員の方はいた。

委 員：委員にも声掛けいただきたい。

6 その他

・村公式LINEについて周知